

キャラクターロボットを通してものづくりに触れる。

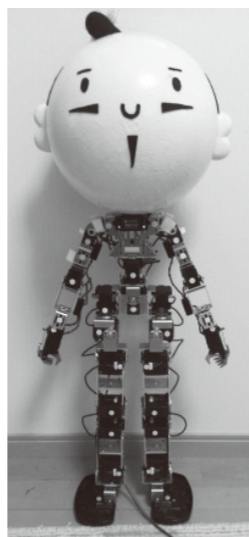
家康くんロボット開発と家康くんの散歩道プロジェクト

市のマスコットキャラクター「出世大名家康くん」のロボットを製作し、まちなかでパフォーマンスを行い、ものづくりの技術を市民に分かりやすく紹介した。ゆりの木通りにある会場でのパフォーマンスは、市民が実際にロボット操作を体験できたこともあり、子どもから大人まで関心を集め、先端技術を用いて作られたロボットに触れる良い機会となった。新たな産業としてのロボットへの期待とアニメで語られる文化面でのロボットに対する期待という点において、本プロジェクトで技術と文化の融合を行うことができた。

主催 特定非営利活動法人 浜松ものづくり工房
 日時 平成24年8月～平成25年3月31日
 会場 たけし文化センターインフォラウンジ、浜松市鴨江別館



市民がロボットを操作し動きやしきを楽しんだ



身長84cm
 体重3.2kg
 電源電圧 7.4～11.1[V]

産業創出 資質活性



始まっています。創造的な活動いろいろ。

平成24年度 浜松市「みんなのはままつ創造プロジェクト」の報告。

「みんなのはままつ創造プロジェクト」は、「創造都市」の実現に向け、市民活動団体や企業などの皆さんが企画して実施する、創造的・独創的な取り組みを市が支援するプロジェクトです。多数の企画提案の中から採択された全37事業が、平成24年8月から平成25年3月までの間に、市内各地で実施されました。ジャンルは、音楽や演劇・芸術、食、情報・映像メディア、多文化共生、商品開発、施設利活用など多岐にわたります。ここではその中の4つの事業を紹介します。

建築デザインを通して問題解決能力を育成する。

創造都市実現へむけた建築デザインによる創造的教育事業

建築デザインにおける創造的な問題解決能力に着目し、設計や施工、デザインを通してその能力を若い人や市民に教育していくプロジェクト。ワークショップでは、静岡文化芸術大学の学生と協働し、中心市街地の空き地で、仮設建築物の設計、施工を実施した。シンポジウムでは、「教育としての建築」をテーマに、浜松および全国から建築デザイナーを招いてのディスカッションや成果報告を行った。建築デザインをテーマに行われた学生たちの活動やコミュニケーションは創造的な活動に主体的に携わる能力を養う貴重な体験となった。仮設建築物が完成していく様子やディスカッションは公開され、市民が建築デザインに触れる機会と交流の場にもなった。

主催 「創造都市実現へむけた建築デザインによる創造的教育事業」実行委員会
 協力 静岡文化芸術大学建築サークルkenken
 日時 平成25年1月10日～3月15日
 会場 万年橋パークビル、わいわいやらまいか広場



5、6人のグループに分かれ建築に取り組む学生

空間構築

資質活性

多種交流



建築デザイナー、学生、市民が関わり完成した簡易建築物

地域活性化の「土台」づくりを支援するリサーチプロジェクト。



「リサーチストア」が街に出現。1カ月間、拠点となった。

地域の課題を発見し、共有するウェブサイト「イシューマップ」。
radlab.info

空間構築 資質活性 多種交流

RESEARCH STORE HAMAMATSU

浜松の建築組織「+tic(プラスティック)」と京都の建築組織「RAD(Research for Architectural Domain)」との協働による都市調査プロジェクト。「地域活性化」のための土台づくりを目指し、浜松を拠点にする研究者や実践者、商店主、また浜松に暮らす人に聞き取り調査を行った。鍛冶町の一角に拠点(リサーチストア)を設け、滞在取材を行い、話題にのぼった場所や地域について確認し、拾いあげた課題や感想を落とし込んだ「地域の課題マップ(イシューマップ)」を制作。また、採取した街の音をつなぎ合わせて曲をつくったり、子どもたちが街の風景を撮影したりするワークショップも行った。ウェブ上に展開された「地域の課題マップ」は、浜松の資源や課題を包括的にとらえることができ、観る人たちの共通した情報となって、今後の街づくりに役立っていくと考えられる。

主催 +tic(プラスティック)
 共催 RAD(Research for Architectural Domain)
 日時 平成24年11月1日～平成25年2月28日
 会場 山下時計店ビル1階

はままつアートバトル

市内の美術・デザイン系専門学校が連携して行った公開式の作品制作競技プロジェクト。3校から選出の3人が、特設ステージにおいて1枚の作品を描き上げ、投票によって勝敗を決めるという企画。バトル開催までに3回の実行委員会会議が開かれ、競技内容やルール、告知方法、当日の運営について検討、設定がされた。開催当日は関係者、応援メンバーを含めた119人の観覧者が集まり緊張感を感じさせる白熱した戦いがくり広げられた。本事業を通して、今まで交流のなかった学校の生徒や教員同士の意見交換や、連携が図られる初めての機会となった。今後の魅力あるまちづくりにおける、若者たちの創造的活動とアートの可能性に期待を感じた事業であった。

主催 はままつアートバトル実行委員会
 協力 笹田学園デザインテクノロジー専門学校、ルネサンス・デザインアカデミー専門学校、専門学校 浜松デザインカレッジなど
 日時 平成24年10月7日 17:30～22:00
 会場 K-MIX(1階スペースK)

アートを通して魅力ある街づくりに貢献。

産業創出 資質活性 多種交流



ライバル校同士が連携して実現。



「あと5分ほしい!」60分一本勝負。